



子どもの森づくり通信

(発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

JP子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2018年4月号)

〒146-0082 東京都大田区池上 1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
<http://www.kodomono-mori.net> <mailto:info@kodomono-mori.net>

「JP子どもの森づくり運動」とご縁をさせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



新年度の活動が始まりました。

あらためてよろしくお願い申し上げます。

「子森通信」の表紙の写真は、苗木シリーズでお送りしておりましたが、今月号からは、様々な活動の風景をお送りします。

第一号は、「東北復興グリーンウェイブ」第一回目の植樹風景です。

活動が始まるこの時期に、“想い”を新にしたいと思います。

(目次)

1. 「東北復興グリーンウェイブ2018」のご案内
2. 東北の“どんぐり”の苗木を見送る活動レポート
3. 事務局からのお知らせ

●どんぐり博士の育苗日記(新シリーズ)

■「JP子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「JP子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の幼稚園・保育園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「JP子どもの森づくり運動」運営体制

・運 営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）

・特別協賛 : 日本郵政グループ

・後援/協力

(公社) 全国私立保育園連盟

(公社) 国土緑化推進機構

(一社) 日本森林インストラクター協会

NPO法人MORIMORI ネットワーク

(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部

(公社) 大谷保育協会

NPO法人C・C・C 富良野自然塾

NPO法人自然体験活動推進協議会

(一社) 日本オート・キャンプ協会

保育環境研究所ギビングツリー



1. 「東北復興グリーンウェイブ」2018のご案内

本格的な春を迎え、“どんぐり”の苗木が芽吹く季節となりました。今年もＪＰ子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」（以下「東北復興グリーンウェイブ」と表記）の活動が始まります。全国の子どもたちが「東日本大震災」の被災地の緑の復興に取り組む「東北復興グリーンウェイブ」の活動は、震災の翌年の2012年から始まり、今年で6年目を迎えます。その間、わたしたちは活動を通じて子どもたちに何を伝えようとしていたのか、今年の活動が始まるにあたり、1）活動が目指していることについて、2）活動の現状について、3）今年の活動について、ここであらためて確認しておきたいと思います。

1) 「東北復興グリーンウェイブ」が目指していること

「東北復興グリーンウェイブ」が目指すことは、①被災地の子どもたちと全国の子どもたちが、“どんぐり”を育てる活動を通じて「共に生きる心」を育み、「絆」で繋がること。②東北の“どんぐり”による、東北の森の「生物多様性」的緑の再生活動に寄与することで、生物多様性の心を学ぶこと。③そんな子どもたちの活動を「グリーンウェイブ」を通じて、世界の子どもたちの環境活動につなげることの三つです。そして、「共に生きる心」は、わたしたちが、被災地の人たちから学んだ大切な心です。わたしたちは、これからも活動を通じて、全国の子どもたちに大切な心を伝え続けてまいりたいと思います。



全国から届いた「どんぐりBOX」

2) 活動の現状

・全国の子どもたちが育てて届けてくれた東北の“どんぐり”を、岩手県山田町の「苗畑」に植える植樹活動は、今年で五回目となります。苗畑の苗木は、山田町の復興産業である「しいたけづくり」と「カキ」の養殖に寄与することを目的とする「しいたけの森」と「カキの森」に植え替えられています。

・さらに、「東北復興グリーンウェイブ」の活動は、岩手県山田町からお隣の宮古市、そして福島県伊達市に広がっています。宮古市では山田町につづき、今年、宮古市の苗畑への植樹活動が始まります。全国からお送りいただく東北の“どんぐり”の苗木は、今年から、山田町と宮古市に植えられます。福島県伊達市では、放射能の除染活動で伐採されたこども園の園庭の緑の再生活動に取り組めます。



福島県での活動風景

3) 今年の活動について

今年も、育ててきた東北の“どんぐり”の苗木を送り返す季節となりました。

新年度の行事でお忙しいと思いますが、「東北の“どんぐり”の苗木を見送る会」の日程調整等、少しずつ準備を始めていただければと思います。活動の風景を、ホームページにてご紹介させていただきたいと思いますので、是非、レポートをお送り下さい。なお、活動については、以下の項目にご留意願います。

- ①今回送り返す“どんぐり”の苗木は、2016年の秋に東北から届いた“どんぐり”の種から育てたものです。
- ②発送の時期は、5/7～5/17の間に各園で発送してください。（期間外の苗木の送付はご遠慮ください。）
- ③苗木を送るための「どんぐりBOX」は、5月に入りましたら順に、各園にお送りします。

2. 東北の“どんぐり”の苗木を見送る活動レポート（詳細ホームページご参照）

●大阪府「木の実キッズキャンパス」東北復興グリーンウェイブ「苗木を見送る会」

- ・日時：2017年5月18日（木）・場所：ビッグマウンテン（自園園庭）
- ・日本郵政グループ：布施郵便局 集荷担当



●東京都「中目黒駅前保育園」東北復興グリーンウェイブ「苗木を見送る会」

- ・日時：2017年5月16日（火）・場所：自園



3. 事務局からのお知らせ

●「みどりとふれあうフェスティバル」ステージイベントのご案内

ＪＰ子どもの森づくり運動では、今年も「日比谷公園」にて開催される～第28回森と花の祭典 緑の感謝祭～「みどりとふれあうフェスティバル」のステージイベントに参加します。今年は豪華に二本立てです。

1) まずは、オープニングイベントに「どんぐり〜ず」が出演し、昨年につづき、全国から集まったゆるキャラたちと「東北復興グリーンウェイブ」のテーマソング「♪どんぐりえがお」ダンスを踊ります。

2) それにつづく「東北復興グリーンウェイブ」のPRコーナーでは、「ＪＰ子どもの森づくり運動」スペシャルサポーターである「チェンソーカービング」世界チャンピオンである栗田宏武さんによるデモンストレーションが行われます。今年は、丸太から何が生まれるのでしょうか。

PRコーナーも「どんぐり〜ず」のご案内します。

開催概要は下記のとおりです。よろしければお出かけ下さい。

- ・開催日時：2018年5月12日(土) 11時～
- ・フェスティバルは、5月12日、13日、両日開催
- ・開催会場：東京都立「日比谷公園」にれの木広場
- ・東京メトロ 日比谷線、千代田線、都営地下鉄三田線「日比谷駅」下車



●どんぐり博士の育苗日記(2018年4月号) ～つれづれなるままに・・・～

子森通信の最後のページをお借りして続けてきた育苗講座は、新年度を機に、「講座」から「日記」に変更いたします。気軽だけど少しためになるコラムを目指して、精進し、継続していきます。今後もよろしくお願いいたします。

子森ネット「どんぐり博士」：河内和男（森林インストラクター）



あらためまして、今号から「育苗日記」となりました。日記になっても育苗に関する情報発信は続けます。引き続き育苗のお悩み解決のお手伝いをしたいと思います。けれど、この講座も始まってから6年になります。かなり多くの園が「育苗」のベテランになられたのではないのでしょうか。また、子どもの森づくりの活動と育苗からさらに、森づくり、園芸や菜園、野山へと、活動をどんどん広げている園もあることと思います。そこで、目を向ける範囲を育苗から大きく広げて、植物が身近にある生活や、季節の移ろい、さらに自然に関する様々なことについて「つれづれなるままに、時々パソコンに向かい、そこはかとなく記していきたい」と考えております。

それにしても、今年の春に「そこはかとなく（とりとめもなく）」思うことは、初夏や真夏のような日が何と多いことかということです。そのため、全国の桜祭りの関係者を困らせました。さらに、ゴールデンウィークに合わせた花の名所は、連休まで花が持たないかもしれません。関東近辺での開花状況は2週間も早まっているようです。しかし、気温や天候は1ヶ月近く先行していると私は感じます。高い気温だけでなく、激しい雷を伴う天気などまさに5月中旬以降のものです。

天候について行けず体調を崩してしまうこともあります。植物も速すぎる季節の進みに、懸命に無理について行っている状況です。植物ですらバテしてしまうのではないかと心配しています。これが杞憂であれば良いのですが、さらに、夏の暑さも不安になりますね。